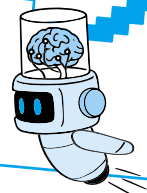




中小企業  
経理の  
生成AI導入  
の基本

vol. 2

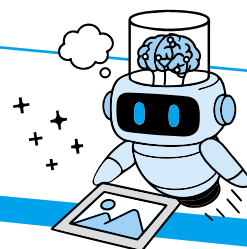


# 成田、初めての プロンプト 経理業務で使える 質問のコツ

AIにより経理業務がなくなるといわれて、はや10年。生成AIが普及しつつあるいま、生成AIを活用することで日常業務を省力化し、人間にしかできない価値判断に重きを置く発展的な働き方が、経理部門には期待されています。

白井敬祐公認会計士事務所 代表  
公認会計士

白井 敬祐



先週の説明を受けて生成AIに興味を持った成田。早速自席でノートPCを開いてみるが、検索結果を見て困惑してしまう。

「ChatGPT、Claude、Gemini、Copilot……いろんなAIがあるけど、どれを使えばいいんだろう……」

「あ、AIサービス選びで迷ってるね」

「倉田先輩！ これ、何が違うんですか？」

「それぞれ特徴があるけれど、基本的な使い方は同じだよ。ちなみにうちの会社はChatGPTの有料プランを契約しているから、それを使ってね」

「有料プラン？ 無料プランと何か違うんですか？」

「そう、ここ重要。製品によって無料版は入力データがAIの学習に使われる可能性があるんだ。会社の機密情報を入れたら情報漏えいになりかねない」

「じゃあ個人の無料版は使えないんですね……」

「そのとおり。有料版なら学習に使われない設定にできるからね」

倉田は会社用アカウントへのログイン方法を教えながら続ける。

「それと、有料版のどのAIを使うにしても、機密情報を入力するのは避けよう。現在の会社名や個人情報情報は絶対に入力しないこと。『A社』とか『取引先B』みたいに仮名にしてね」

「早速この交通費精算について聞いてみます！」

成田は『交通費の仕訳を教えてください』と入力。一般的でばやりした回答が返ってきた。

「うーん、もっと具体的に知りたいな……」

「最初から完璧じゃなくていいんだ。追加で質問してごらん」

成田が『従業員が立て替えた新幹線代1万5000円を現金精算する場合は？』と聞き直すと、明確な仕訳が表示された。

「すごい！ 対話しながら答えが詳しくなった！」

「実は質問の仕方もAIに聞けるんだ。『経理初心者

がAIに仕訳を質問するときの、良いプロンプトの書き方を教えて』って感じにね」

「へー！ 裏技みたいですねー」

「そう。でも最後は必ず自分で確認。会社のAI利用規定も後で渡すから、必ず読んでおいてね」

## どのAIサービスを 選べばいい？

生成AIサービスは複数あり、それぞれに特徴があります。

- ChatGPT (OpenAI) : 最も普及しており、汎用性が高い
- Gemini (Google) : ChatGPTと同様、汎用性が高く、Google製品との連携が強い
- Claude (Anthropic) : 長文読解と自然な日本語が強い
- Copilot (Microsoft) : WordやExcelなどMicrosoft365製品に強い

経理業務での基本的な使い方はどれも同じです。生成AIにおける業務への活用法の原則は「会社が契約しているサービスを使うこと」です。個人の判断で勝手に使わず、必ず会社の方針に従いましょう。



## ● ChatGPTo3 に汎用テンプレートで質問

状況：当社がパソコンを2024/4/1に198,000円（税別）で現金で購入した  
質問：この場合の各年度の減価償却費の仕訳は？  
前提条件：  
当社は3月決算である。  
減価償却方法は定額法。  
耐用年数は4年。  
残存価値は0円  
形式：表形式で教えて

思考時間：5秒 >

### パソコン（取得原価198,000円※税抜）の減価償却仕訳

（定額法・耐用年数4年・残存価額0円・3月決算）

決算期（期末日）	借方科目	金額（円）	貸方科目	金額（円）	摘要
2025年3月31日	減価償却費	49,500	減価償却累計額	49,500	198,000 ÷ 4
2026年3月31日	減価償却費	49,500	減価償却累計額	49,500	同上
2027年3月31日	減価償却費	49,500	減価償却累計額	49,500	同上
2028年3月31日	減価償却費	49,500	減価償却累計額	49,500	同上

### 計算根拠

- 取得原価（税抜） 198,000円
- 年間償却額 198,000円 ÷ 4年 = 49,500円
- 4年間の累計償却額 49,500円 × 4年 = 198,000円 → 帳簿価額は0円

※取得時は、備品198,000円・仮払消費税等19,800円 / 現金217,800円（税率10%の場合）で計上し、減価償却の対象となるのは税抜額198,000円です。

## 会社でAIを使う前の 必須確認事項

### (1) ビジネスプラン（有料版）の利用

個人アカウントでAIを業務利用すると、情報漏えいにつながります。絶対にやめましょう。

● 無料版…入力データがAI学習に使用される可能性がある  
● 有料版…オプトアウト（学習利

用の拒否）設定が可能

各AIサービスでのオプトアウトの設定は「AIサービス名＋「オプトアウト」で検索して設定してください。ビジネスアカウントではデフォルトで設定されている場合があります。

### (2) 情報セキュリティの徹底

オプトアウト設定は、いわば公道を走るための「シートベルト」のようなものです。必ず着用すべ

き必須の安全装置ですが、それだけで事故が完全に防げるわけではありません。

会社の機密情報という大事なものを運ぶ際は、普通車（クラウド環境）のシートベルト（オプトアウト）だけでなく、装甲車（プライベート環境を構築）を使うか、それとも、そもそも荷物（機密情報）を載せないかを考える必要があります。リスクをどこまで許容するかは会社の情報セキュリティ部門に確認しましょう。

### まずは気軽に質問！ 対話で精度UP

AIへの質問（プロンプト）は完璧である必要はありません。対話しながら精度を上げましょう。

・対話で回答精度を上げる例  
1回目…減価償却って何？

2回目…パソコン19万8000円の場合、減価償却をどうしたらいいか教えて

3回目…パソコン19万8000円（税別）を定額法で減価償却する場合の仕訳を具体的に教えて

### 経理で使える 汎用テンプレート

以下のテンプレートを用いる

と、精度の高い回答が手軽に得られます（上図）。

### ・汎用テンプレートの例

状況…「誰が」「何を」「いつ」「金額」「税別or税込」「方法」  
質問…この場合の「知りたいこと」は？

前提条件…（前提条件があれば）形式…「仕訳／表形式／箇条書き」で教えて

### AIに聞けば教えてくれる！ プロンプトのつくり方

実は、プロンプトのつくり方自体も、AIに相談できます。

### ・質問例

●「売上計上のタイミングについて相談したいけど、どう質問すればいい？」

●「経理初心者向けに、AIへの質問テンプレートを5個つくって」

●「最初のプロンプトは何の情報が必要だった？ 完璧なプロンプトを教えてください」

AIは「こんな情報を追加するといいですよ」「この形式で聞くとわかりやすいです」といったアドバイスをくれます。

今回は、Excel作業でのAI活用法を見ていきます。関数もAIがお手伝い！